

平成18年度人間ドック・脳ドック受診結果

人間ドック利用助成事業について、平成18年度実施分の検診結果をとりまとめましたのでお知らせします。

人間ドック9720名、脳ドック181名(個人を特定しない形で)の症例別有所見者数の統計調査について、検診機関の協力が得られた件数)について、有所見(要生活改善、要精密検査、要治療)者の割合を掲載しています。

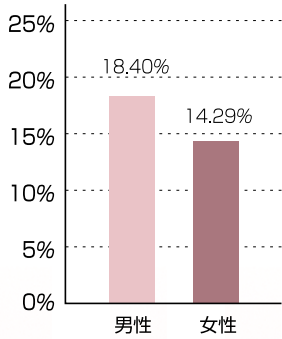
項目別有所見率のトップは、男性：肝機能異常、女性：高コレステロール！

項目別に有所見率を見ますと、男性は、肝機能異常がトップで、肥満、高コレステロール、高中性脂肪が上位を占めており、年代別では、年齢とともに糖尿病、高血圧について増加の傾向があります。

女性は男性に比べて全般的に、異常の頻度は低いものの、高コレステロール、腎・尿路疾患、肝機能異常、血液疾患が上位にあり、年代別では、年齢とともに肝機能異常、高コレステロール、糖尿病、肥満について増加の傾向があります。

検診結果が、「要生活改善」であった方は、生活習慣を見直すきっかけに、また「要精検・要治療」の方は、必ず医療機関で検査・治療を受け、せっかくのドック受診が無駄にならないよう、検診結果を生

脳ドックによる有所見者の割合



人間ドックによる有所見者の割合

